

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 限局型小細胞肺癌に関するレトロスペクティブ研究

研究の目的

小細胞肺癌は、肺癌のなかでも進行が速く、転移しやすいものの、化学療法や放射線療法による治療効果が高い腫瘍です。限局型と進展型の病期に分けて治療方針が決定されており、限局型では放射線治療と抗がん剤の同時併用が標準治療であり、近年、放射線同時化学療法後に免疫チェックポイント阻害剤での維持療法の有効性が示され 2025 年本邦でも承認され使用可能となっています。放射線と化学療法の同時が難しい症例では化学療法と逐次放射線治療が推奨されています。実地臨床でどの程度の症例が逐次治療が選択されているか、同時治療で行った場合の化学療法のレジメン選択に関して実地臨床のデータは不足しており、当院における限局型小細胞肺癌患者の治療に実態を明らかにする目的で研究を行います。

研究実施期間： 実施許可日～ 2026 年 12 月 31 日

対象となる方： 2015 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日の間に弘前大学医学部附属病院において限局型小細胞肺癌と診断され、治療導入された症例を対象とします。

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、喫煙歴、Performance Status、治療レジメン（プラチナ製剤の種類）、放射治療方法、予防的全脳照射の有無、血液データ、有害事象、治療開始日、治療効果、増悪日、治療中止の有無、再発形式、最終生存確認日について、標記研究課題実施のために利用します。今回の研究では、試料の利用はありません。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	田中 寿志（弘前大学大学院医学研究科 呼吸器内科学講座） 〒036-8562 青森県弘前市在府町 5 TEL:0172-39-5468 E-mail: h-tanaka@hirosaki-u.ac.jp
-------	---